

## 2.七ヶ浜町居住意向調査 集計結果報告[確定版]

### □調査の趣旨及び概要

津波被害にあわれた全世帯を対象に、今後の居住に関する意向を確認するため、戸別訪問による調査を実施

※対象世帯は、罹災証明ベースの津波の被害に関わらず、敷地内に浸水したと思われる世帯すべてを対象(個々の聞き取りにより判断)

### □該当件数及び集計件数

該当件数配布数	1,254 通
回収数	1,026 通
回収率	81.8%

### □調査結果概要

- [1-1]被災(津波が浸水)世帯数は、菖蒲田浜地区が 340 世帯、花湊浜地区が 185 世帯、代ヶ崎浜地区が 156 世帯の順となっている。
- [1-2]現在の住まいは、仮設住宅が約 36%となっている。
- [2]被災前の居住形態は、持ち家が約 94%となっている。
- [3]被災状況は、大規模半壊以上が約 73%、半壊及び一部損壊が約 14%、床上・床下浸水が約 9%であった。
- [問 1]今後の住まいの場所について、現在の場所に再建したいが約 47%、町内の転居を希望するが約 39%、町外の転居を希望するが約 6%であった。
- [問 2]自宅の再建について、経済的に可能であるが約 58%、経済的に不可能であるが約 37%であった。

### [復興パターンの振り分け結果]

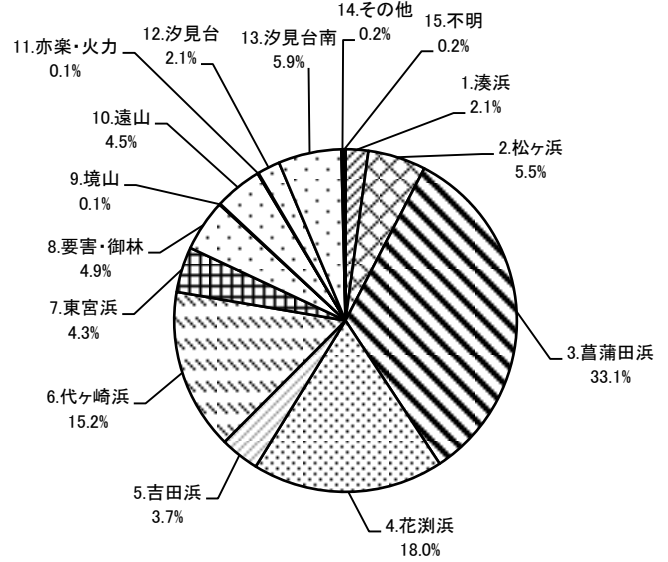
- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| ● [A]原位置希望で自己再建可能        | 27.3% |
| ● [B]権利を有する土地に転居(調整区域)   | 1.8%  |
| ● [C]土地の権利は無いが安全な場所に転居   | 20.4% |
| ● [D]自己再建困難              | 29.4% |
| ● [E] 権利を有する土地に転居(市街化区域) | 2.3%  |
| ● [F]町外に転出               | 6.0%  |

～ 七ヶ浜町 居留意向調査 結果集計 ～ 確定版

あなた自身（世帯の主たる生計者）に関することについてお聞かせください

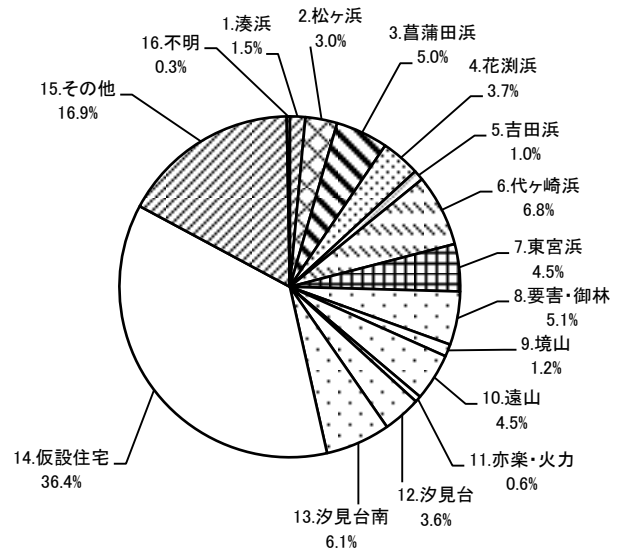
①-1 被災住所

選択肢	人数	比率
1.湊浜	22	2.1%
2.松ヶ浜	56	5.5%
3.菖蒲田浜	340	33.1%
4.花渚浜	185	18.0%
5.吉田浜	38	3.7%
6.代ヶ崎浜	156	15.2%
7.東宮浜	44	4.3%
8.要害・御林	50	4.9%
9.境山	1	0.1%
10.遠山	46	4.5%
11.亦楽・火力	1	0.1%
12.汐見台	22	2.1%
13.汐見台南	61	5.9%
14.その他	2	0.2%
15.不明	2	0.2%
計	1,026	100.0%



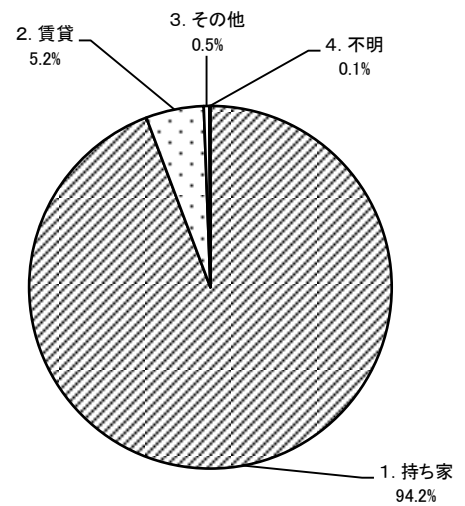
①-2 現住所

選択肢	人数	比率
1.湊浜	15	1.5%
2.松ヶ浜	31	3.0%
3.菖蒲田浜	51	5.0%
4.花渚浜	38	3.7%
5.吉田浜	10	1.0%
6.代ヶ崎浜	70	6.8%
7.東宮浜	46	4.5%
8.要害・御林	52	5.1%
9.境山	12	1.2%
10.遠山	46	4.5%
11.亦楽・火力	6	0.6%
12.汐見台	37	3.6%
13.汐見台南	63	6.1%
14.仮設住宅	373	36.4%
15.その他	173	16.9%
16.不明	3	0.3%
計	1,026	100.0%



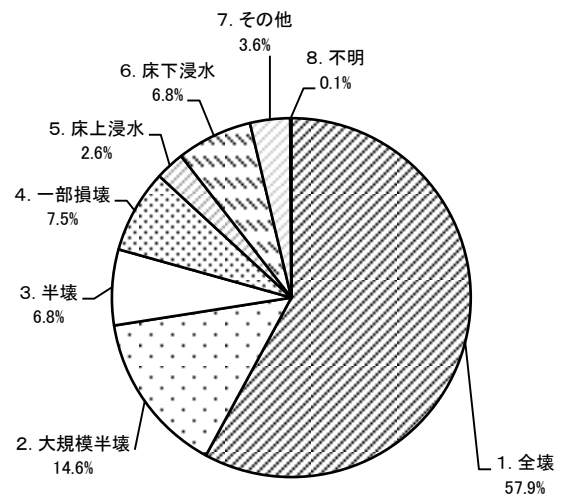
## ② 被災前の居住状態

選択肢	人数	比率
1. 持ち家	967	94.2%
2. 賃貸	53	5.2%
3. その他	5	0.5%
4. 不明	1	0.1%
計	1,026	100.0%



## ③ 被災されたお住まいの被災状況

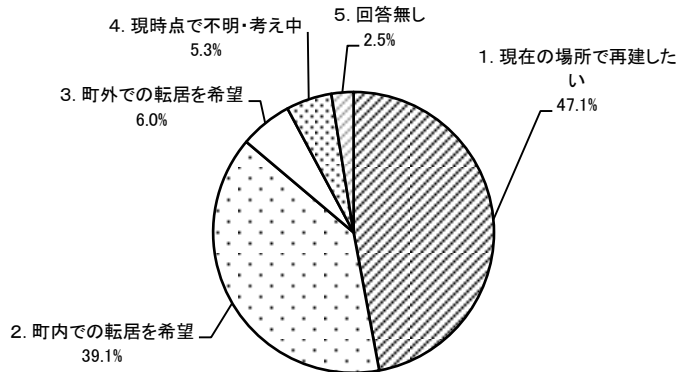
選択肢	人数	比率
1. 全壊	594	57.9%
2. 大規模半壊	150	14.6%
3. 半壊	70	6.8%
4. 一部損壊	77	7.5%
5. 床上浸水	27	2.6%
6. 床下浸水	70	6.8%
7. その他	37	3.6%
8. 不明	1	0.1%
計	1,026	100.0%



今後の居住意向についてご意見をお伺いします。

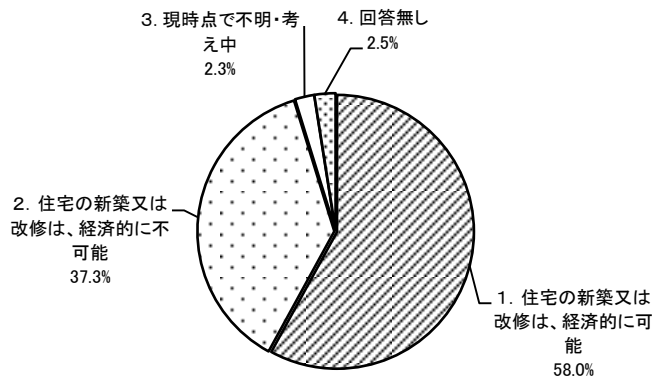
問1 津波被害を踏まえ、今後の住まいの場所についてどうお考えですか。(〇は1つ)

選択肢	人数	比率
1. 現在の場所で再建したい	483	47.1%
2. 町内での転居を希望	401	39.1%
3. 町外での転居を希望	62	6.0%
4. 現時点で不明・考え中	54	5.3%
5. 回答無し	26	2.5%
計	1,026	100.0%



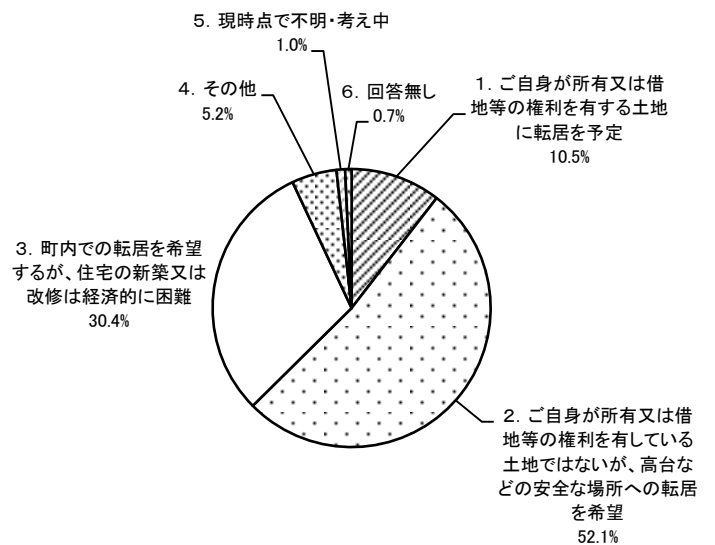
問2 ご自身で住宅を新築又は改修することは、経済的な面から可能でしょうか。(〇は1つ)

選択肢	人数	比率
1. 住宅の新築又は改修は、経済的に可能	280	58.0%
2. 住宅の新築又は改修は、経済的に不可能	180	37.3%
3. 現時点で不明・考え中	11	2.3%
4. 回答無し	12	2.5%
計	483	100.0%



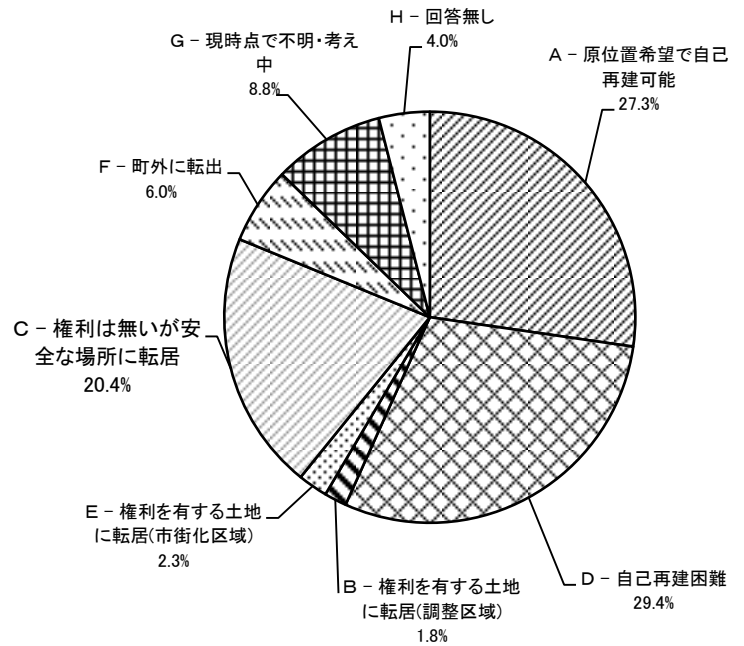
問3 町内での転居場所の意向について具体的にお聞かせください(〇は1つ)

選択肢	人数	比率
1. ご自身が所有又は借地等の権利を有する土地に転居を予定	42	10.5%
2. ご自身が所有又は借地等の権利を有している土地ではないが、高台などの安全な場所への転居を希望	209	52.1%
3. 町内での転居を希望するが、住宅の新築又は改修は経済的に困難	122	30.4%
4. その他	21	5.2%
5. 現時点で不明・考え中	4	1.0%
6. 回答無し	3	0.7%
計	401	100.0%



～ 復興パターン ～

選択肢	人数	比率
A - 原位置希望で自己再建可能	280	27.3%
D - 自己再建困難	302	29.4%
B - 権利を有する土地に転居(調整区域)	18	1.8%
E - 権利を有する土地に転居(市街化区域)	24	2.3%
C - 権利は無いが安全な場所に転居	209	20.4%
F - 町外に転出	62	6.0%
G - 現時点で不明・考え中	90	8.8%
H - 回答無し	41	4.0%
計	1,026	100.0%



□ .. 町内

参考：パターン分類の考え方

設問等	選択項目												
設問1	①原位置に居住				②町内に転居						③町外に転出	④現時点で不明・考え中	⑤回答無し
設問2	①自分で再建可能	②自分で再建は困難	③現時点で不明・考え中	④回答無し	①所有又は借地等の権利がある土地に転居	②所有又は借地等の権利はないが、安全な場所に転居	③転居を希望するが、ご自身の再建は困難	④その他	⑤現時点で不明・考え中	⑥回答無し	-	-	-
住宅復興方針等との対応	パターン A	パターン D	パターン G	パターン H	調整区域であれば パターン B 市街化区域であれば パターン E	パターン C	パターン D	パターン G	パターン G	パターン H	パターン F	パターン G	パターン H
図化作業	住民意向 (A~H) をプロット												
備考					転居先をプロット								
					市街化区域か調整区域かを個人が認識しているか不明なため、その判断は行政(コンサル)が対応								